# あすなろの木

光明中だより
編集者：校長 上田薫
No.3
平成30年5月8日

## 風薫る5月

### 2018〝立夏（りっか）〟の到来

先日、5月5日は、「こどもの日」そして、今年の「立夏」の日でもありました。そう暦（こよみ）の上では、もう夏がやって来たことになります。この日から、立秋（例年8/7頃）の前日までが〝夏季〟となります。新緑の季節で、九州では、麦が穂を出し、北海道では、じゃがいもや豆の種まきが始まる季節といわれています。また、蛙（かえる）が鳴き出すのも、この頃からと…。登下校時に田んぼの近くを通る（絶対に田んぼの〝あぜ〟は通ってはダメですよ！）時などは、少し耳を傾けてごらん。カエルの合唱が聞こえてきますよ！さて、いくら暦上は「夏」だと言っても、実際に本格的な夏の到来はもう少し先。これからは、日差しが強くなり、気温も高い日がありますが、湿度は低く、吹く風もとても〝さわやか〟ですね。右上の写真ですが、立夏の日の朝、少し早起きをしてランニングをしました。文字通りの「五月晴れ」のとてもいいお天気で、心地良く走ることが出来ました。その際に訪れた東大寺二月堂（私の家から走って10分位で着きます）の境内（けいだい）から、澄み渡った青空のもと、朝日に照らされる奈良市内、そして遠くに生駒山から、光明中学校方面を眺めていて、とても清々（すがすが）しかったので、思わず心を寄せ、シャッターを押しました！「カシャッ」

さて、GW（ゴールデンウィーク）も終わり、昨日からは、平常校時（全日授業）へと戻りました。4月、何もかも新しい環境でスタートし、約1ヶ月、心身ともに緊張し続けてきたところをGWで少しホッと一息ついたのかなと考えます。またこれからの生活にギアを切り換えて取り組んでいきましょう。先ずは「健康第一！」少し緊張がほぐれた頃は、ややもすると、体調を崩してしまう恐れがあります。みんな、体調管理にはくれぐれも気をつけましょう！

## ＜学校スローガン、再決定！＞ 保護者の皆様へのお伝え

第1号で紹介した学校スローガンを変更し再決定しました。子どもたちには、昨日の全校集会で話しましたが、「光（ひかり）・明（あかるい）この地から感動の風を起こそう！」を改め、これまで伝統として受け継がれてきている生徒会スローガンを学校スローガンとし、「感動の風を起こそう！」をサブタイトルとして加えました。

**〈学校スローガン〉**
**「ひかり 明るい みんなの笑顔 心がステキ 光明中」**
**～ 感動の風を起こそう！ ～**

先月（4/19：木）の新入生歓迎会で、生徒会本部役員が、生徒会スローガンをはじめ、生徒会組織やその他、本校の事も心を込めて説明してくれました。せっかく本校には伝統のスローガンがあるのですから、この〝志〟を受け継ぎ、みんなの笑顔が満ちあふれ、優しく温もりのある心をもった光明中学生として誇りを持ち続けてくれる学校であることが何より大切であると考えました。そして、その姿に、誰もが心打たれ、たくさんの〝感動〟をまき起こせるに違いないと考え、サブタイトルを設けました。

このスローガンのもと、全校生徒、職員、そして、保護者の方、地域の方、みなさんの力を結集し、実現させていきたいと考えます。何卒、ご理解の上、ご支援賜わりますよう、よろしくお願いいたします。

## ＜家庭訪問、ありがとうございました＞

家庭訪問では、貴重なお時間を頂戴し、誠にありがとうございました。本校全ての子どもたちが、たくさんの「人と出会い」、たくさんの「事を学び」、たくさんの「悩みと向きあう」その真っ最中にあります。時として、周囲にいる大人（保護者や私たち教職員）をハラハラ・ドキドキさせることもあろうかと考えますが、この過程を経（へ）て、日々大人へと成長しています。

この度の家庭訪問をはじめ、ご家庭とともにしっかりと手を取り合いながら、見守っていきたいと思います。今後ともよろしくお願いいたします。

## ＜頑張れ！〝光明中健児〟＞ 部活動の応援に際し、

前号（第2号）でもお話したように、このGW中、運動部活動の人たちは、公式戦が相次ぎました。4/28～5/4にかけて、男女のバスケットボール部、野球部、ソフトテニス部の試合の一部を見る（応援する）ことが出来ました。バレーボール部の応援にも行ったのですが、残念ながら、試合時間に間に合うことができませんでした…。ゴメンなさい。みんな、とても頑張っていました。息詰（いきづ）まる攻防がたくさんあり、本校生徒の一生懸命さを、どの競技・会場でも見る（応援する）ことができて、とても良かったです。

今回の市の大会で、男子ソフトテニス部Aチームが優勝、女子ソフトテニス部Aチームが3位に、サッカー部が2位となり、昨日の全校集会で表彰しました。おめでとう!!

来月（6月）には、生駒市中学校総合体育大会（市総体）がありますね。以前（う～ん、もう15年以上も前の話）、この市総体が7月にある県の総合体育大会（県総体）の予選になっていて、この市総体で優勝しないと、県大会には出場が出来ませんでした。そんな時代（歴史）があるのです。つまり、3年生は、この6月の市総体でユニフォームを脱ぐこととなる人が多かったのです。今も、ソフトテニス等の個人戦と団体戦のある競技では、団体戦は、7月の県総体に出場できますが、個人戦は予選となっているケースが多いですよね。だから、次の市総体は大切な勝負となる人もいるのです。

そこで、この春の大会を終えた今、次の言葉をしっかりと考えてみて下さい。

### 「勝ちに学び、負けに学ぶ」

どうですか、理解できますか。勝敗の理由（わけ）を探ってみましょう。今のこの春の戦いは、次の6月の市総体、そして7月の県総体に向けての大切な過程です。試合は結果が伴うもの、誰だって試合には「勝ちたい」だから必死で戦いますよね。

今大切にして欲しいのは、勝敗の結果から「何を学ぶか」ということです。勝敗の手応え（てごたえ）を自分たち自身で、しっかりと振り返ることが大切です。「勝てた」結果だけに満足するのではなく、なぜ勝利することが出来たのか、何を得て、何が積み上がっているのかを、しっかりと分析（ぶんせき）して下さい。勝つことは大きな「自信」となります。今回の勝利は、必ず勝つための理由があったのです。その理由を、次への糧（かて：力づけるもの）として、さらに精進（しょうじん）しましょう。

また、敗戦からも、多くのことを学びましょう。試合では、相手の体格や力が勝っているなど、中々すぐに対処できないこと、変えるのが難しいこともあるでしょう。しかし、自分たちのチームで、今やれること、やり直せること、足りないと思うこと、を探し、見つけ出し、実行へとつなげていくことは出来るはずです。日々の練習への取組方やチームだからこそのコミュニケーションの取り方など、ちょっと見方を変えて、工夫してみること。この時の約束事は、必ず、チームとして前向きになれる、元気になれることを話し合い、実行するようにしていくことです。

人に「強み・弱み」があるように、チームとしての「強み・弱み」も存在します。「強みを伸ばせば、弱みは補え（おぎなえ）る」のです。

さあ「負け」からこそ、多くのことを学びましょう。「なにくそ！」と踏んばるチャンスにしましょう!!

〝頑張れ 光明中健児!!〟
みんなで、勝利に向かって突き進め!!